

平成 22 年度
森林整備事業における
完了後の評価結果（案）

平成22年度 完了後の評価実施地区一覧表

2 補助事業

(2) 森林居住環境整備事業

整理 番号	都道府 県 名	事 業 区 分	事業実施地区名		事業実施主体
			市町村名	地区名	
1	北海道	森林居住環境整備事業	様似町、浦河町、えりも町	様似・浦河・えりも	北海道、様似町、浦河町
2	富山県	森林居住環境整備事業	南砺市 (旧平村)	平	富山県、南砺市 (旧平村)
3	富山県	森林居住環境整備事業	上市町	上市	富山県、上市町
4	福井県	森林居住環境整備事業	福井市 (旧美山町)	美山	福井県、福井市 (旧美山町)
5	高知県	森林居住環境整備事業	梼原町	梼原北部	梼原町
6	熊本県	森林居住環境整備事業	水上村	水上	熊本県、水上村
7	宮崎県	森林居住環境整備事業	日向市 (旧東郷町)	東郷	宮崎県、日向市 (旧東郷町)
8	宮崎県	森林居住環境整備事業	西米良村	西米良	宮崎県、西米良村
9	宮崎県	森林居住環境整備事業	美郷町 (旧西郷村)	西郷	宮崎県、美郷町 (旧西郷村)

完了後の評価個表

整理番号	1 - 1
------	-------

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	北海道
地区名	様似・浦河・えりも	事業実施主体	北海道、様似町、浦河町
関係市町村	様似町、浦河町、えりも町	管理主体	様似町、浦河町、えりも町
事業実施期間	H12 ~ H16 (5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	① 位置等 当地区は、日高地方の東部に位置し、日高山脈とそれとほぼ並行して走る海岸線に挟まれた地域で、狭隘な平野部には牧場が広がり全国一を誇る軽種馬の生産が行われている。また、日高昆布などの沿岸漁業も営まれている。 ② 森林の状況 当地区の民有林の森林面積は87,816haで、そのうちの17%にあたる15,108haが人工林となっている。人工林のうち間伐等の森林整備が必要となるIII齢級からVII齢級の森林は8,484haと56%を占め、優良材生産を目指した森林整備の推進が課題となっている。 また、保安林として、主に水源かん養保安林に49,626ha、土砂流出防備保安林に5,679haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。 ③ 当地区を整備する目的・意義 林道(開設3路線)の総利用区域面積は4,201haを有しており、それぞれの地域の森林整備を実施するうえで唯一の幹線となる路網であり、適正な森林整備の実施が必要となっている。また、大雨や高波等による国道通行止めの際の迂回路として地域住民の通行や物資の運搬等の役割も果たしているため、安全な通行を確保する必要がある。このため、適正な森林整備の促進及び生活環境の改善を図る目的で林道整備を行った。 また、市民の森林レクリエーションに対する需要の増加や多様化するニーズに応え、豊かな森林資源を有効に活かした都市との交流による山村地域の活性化が求められていたことから、様似町において森林コミュニティ環境整備を実施した。 (事業概要) 森林整備 ①様似町 間伐等 66.38ha ②浦河町 間伐等 98.96ha 森林基幹道整備 ①えりも線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,429m 利用区域面積 2,652ha 森林管理道整備 ①アポイ新富線 車道幅員 3.0m 開設延長 4,504m 利用区域面積 958ha ②野深線 車道幅員 4.0m 開設延長 3,100m 利用区域面積 591ha ③東町幌別線 車道幅員 4.0m 改良延長 33m 森林コミュニティ環境整備 ①様似町森林コミュニティ施設 運動施設等 総事業費 1,374,526千円 (当初総事業費 1,055,100千円)
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。 総便益 (B) 4,211,147千円 総費用 (C) 2,332,717千円 効果分析 (B/C) 1.80
② 事業効果の発現状況	手入りが遅れていた森林約165haの間伐等が実施され、森林の公益的機能が維持増進された。 また、林道整備により施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、整備前5年間の間伐・保育等延べ面積約148haに対し、過去5年間で約501ha(3.4倍)に増加した。 森林コミュニティ環境整備により整備した様似町森林コミュニティ施設の年間利用者は様似町の人口の約2倍に相当する約11,800人に上っており、都市と山村の交流促進につながった。
③ 事業により整備された施設の管理状況	区域内の森林は、森林所有者及び森林組合により間伐等が適切に実施されたため良好な管理状況にある。 林道は、様似町、浦河町、えりも町が定めた林道維持管理規定に基づき適切に管理されており、年数回の草刈りや側溝掃除等が行われている。 また、様似町森林コミュニティ施設は、様似町が利用期間は管理人を常駐させるなど適切に管理されている。

④ 事業実施による環境の変化	健全な状態の単層林や複層林、針広混交林が整備され森林の景観が向上した。 林道整備により、作業コストが低減され間伐等が進むなど、森林所有者の森林整備に対する意欲が向上したほか、施業地までの到達時間の短縮により林業従事者の労働条件の改善が図られた。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、溪流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 整備された林道は、大雨や高波等による国道通行止めの際の迂回路として利用されており、地域住民の生活環境の安定に寄与している。 林道を通じて山菜採りやハイキング等に森林を利用する地元住民が増加しており、森林に対する理解が深まりつつある。
⑤ 社会経済情勢の変化	近年、森林のもつ木材生産機能はもとより、地球温暖化防止や水土保全等の公益的機能への期待が高まってきている。 林道の整備により、労働強度の軽減や作業コストの低減による林業生産性の向上が図られつつある。 森林コミュニティ施設は供用開始した平成15年以降、地域のレクリエーション施設や高齢者等集いの場として定着し、都市と山村の交流促進による地域の活性化や住民の健康増進にも繋がっている。
⑥ 今後の課題等	森林整備に対する地元住民の意欲が増進されたものの、木材価格の低迷等により未だ森林整備が十分と言えない状況となっている。今後、さらなる路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械の導入により、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性を向上させる必要がある。 また、一般車両の通行の増加に伴い、適切な維持管理の実施と、より安全な林道通行を確保するために林道利用に係るマナーの向上を図る必要がある。 当事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。 ・地元の意見： 路網整備により適切な森林整備が実施され、水源かん養や山地災害防止等の公益的機能の発揮に寄与している。（北海道） 森林整備の実施により、道道481号線に隣接する浦河ダム湖周辺の自然景観が維持されている。（浦河町） 林道の開設後は、沿線の小溪流等への散策に訪れる人が増加してきているとともに、地域の振興や生活関連道路としても寄与している。（浦河町・様似町・えりも町） 森林コミュニティ施設の整備後は、隣接するアポイ山麓ファミリーパークの魅力が更に高まり、入込者の増加と地元様似町や近隣市町村からの来訪者により地域振興が図られている。（様似町） 国道が大雨や高波等によりしばしば通行止めとなり、地域が孤立化する度に、林道が国道の代替え道路として利用されている。（えりも町）
評価結果	・必要性： 森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備や、森林コミュニティ環境整備による森林の多面的機能等の活用を通じた都市と山村の交流促進による地域の活性化が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地の条件に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施に当たっても現地発生木材の利用や切・盛土量の抑制等コスト縮減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備等が促進され、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、林道通行の安全性の確保及び森林コミュニティ施設における山村と都市住民との交流による地域の活性化にも貢献しており、事業の有効性が認められる。

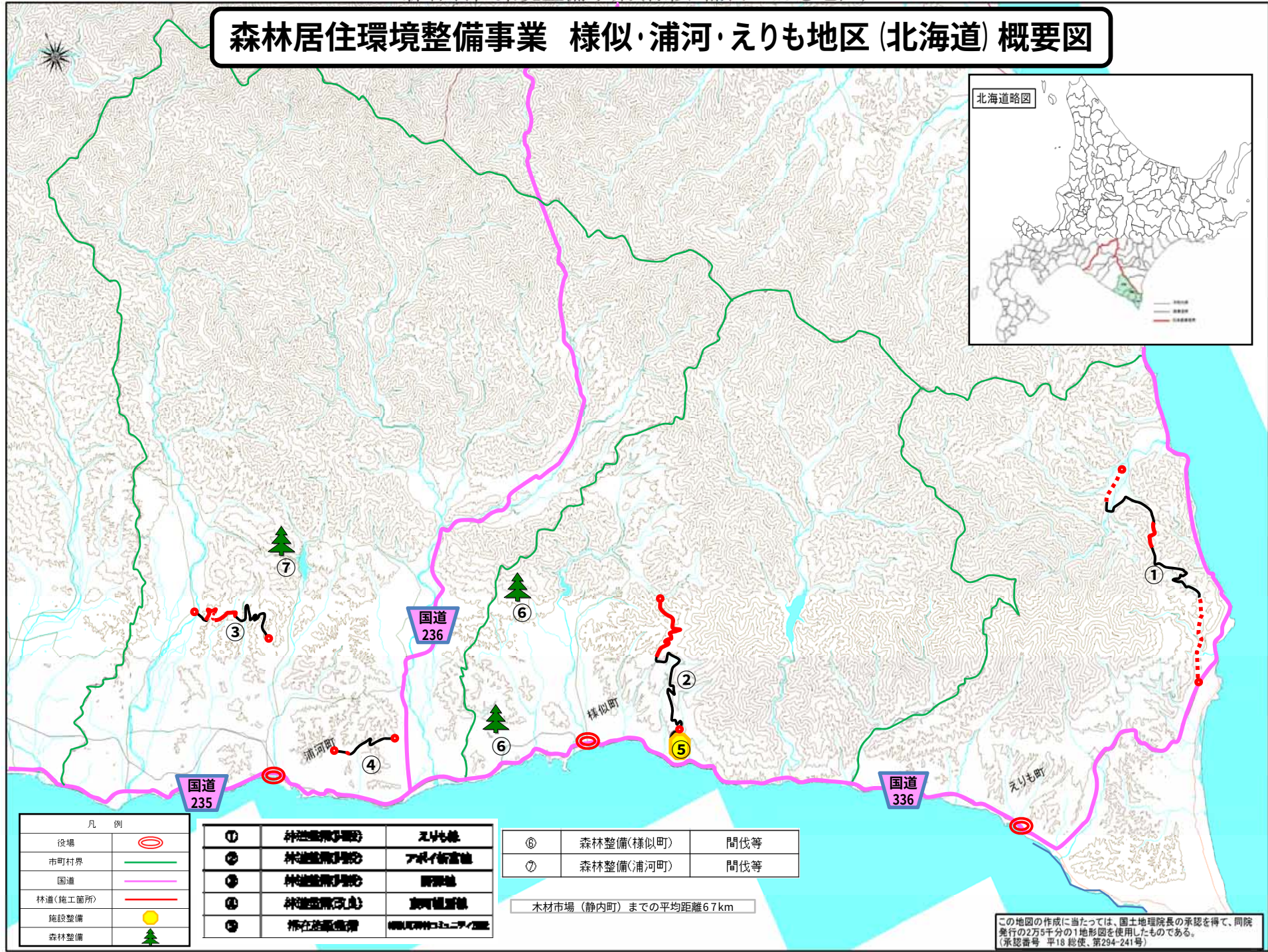
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林居住環境整備事業
地区名：様似・浦河・えりも

北海道
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	239,469	
	流域貯水便益	97,180	
	水質浄化便益	165,888	
山地保全便益	土砂流出防止便益	451,776	
	土砂崩壊防止便益	22,160	
環境保全便益	炭素固定便益	59,080	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	47,555	
	木材生産確保・増進便益	460,671	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,128,744	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	42,020	
	フォレストアメニティ施設利用便益	482,306	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	14,298	
総 便 益 (B)		4,211,147	
総 費 用 (C)		2,332,717	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,211,147}{2,332,717} = 1.80$		

森林居住環境整備事業 様似・浦河・えりも地区 (北海道) 概要図



完了後の評価個表

整理番号	2-1
------	-----

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	富山県
地区名	平地区	事業実施主体	富山県、南砺市（旧平村）
関係市町村	南砺市（旧平村）	管理主体	南砺市（旧平村）
事業実施期間	H12～H16（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的

- ① 位置等
当地区は、富山県の南西端に位置する豪雪地域で、庄川の急峻な谷間に沿って点在する21集落に約1,200人が居住している。近年は、東海北陸自動車道等の交通整備が進められ、世界遺産に登録された相倉合掌造り集落など山村の特徴を活かした新たな地域づくりに重点を置いている。
- ② 森林の状況
当地区の森林面積は8,673ha、そのうち人工林が2,288haで26%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅧ齢級の森林は488haあり、人工林の約21%を占めている。
また、保安林として、主に水源かん養保安林に451ha、土砂流出防備保安林に4,504haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の維持増進が期待されている。
- ③ 当地区を整備する目的・意義
これまでに2,288haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加し、公益的機能を高度に発揮させるべき森林も増加しており、適正な森林整備が求められていたが、効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が未整備であったため、林道を開設するとともに森林の公益的機能の高度発揮を目的として、間伐等を行った。
東部地区、竜渡地区、田向地区では、生活用水として簡易水道等を利用していたが、降雨時には濁りや詰りが発生し住民の生活に支障を来たしていた。また、世界遺産への観光客の増加に伴い水需要も増大していたため、良質な生活用水を安定的に供給することが求められていたため、用水施設の設備を行った。
東部地区、田向地区では、過去の事例から林野火災の発生及び延焼の危険性が高く、また、相倉合掌造り集落への観光客の増加もあり、林野火災対策を実施する必要があったことから、安全で快適な山村社会の形成を図ることを目的として、山火事防止用水槽等を設置する林業集落内防災安全施設整備を行った。
小谷川地区では、森林レクリエーションに対する需要の増加やニーズの多様化に応え、優れた自然環境特性を有効に生かした魅力ある山村づくりに資するため、森林資源を活用した広場、休憩施設等を整備するフォレストアメニティ（森林公園）施設等の整備を行った。

(事業概要)

森林整備	下刈1.14ha,除間伐46.51ha					
森林基幹道整備						
①高成1号線	車道幅員	4.0m	開設延長	1,840m	利用区域面積	3,263ha
森林管理道整備						
①尾峰線	車道幅員	3.0m	開設延長	4,166m	利用区域面積	212ha
②柳峠線	車道幅員	3.0m	改良延長	1,720m	利用区域面積	573ha
用水施設整備						
①東部地区	対象戸数	82戸				
②竜渡地区	対象戸数	48戸				
③田向地区	対象戸数	47戸				
林業集落内防災安全施設整備						
①東部地区	山火事防止用水槽	4基				
②田向地区	山火事防止用水槽	6基				
フォレストアメニティ（森林公園）施設整備						
①小谷川森林公園	広場施設、休憩施設、遊歩道等					
森林利用施設等排水施設整備						
①小谷川森林公園	用排水施設					
総事業費	1,428,625千円	（当初総事業費	1,000,000千円）			

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。

総便益 (B)	3,204,420千円
総費用 (C)	2,046,551千円
分析結果 (B/C)	1.56

② 事業効果の発現状況	手入れが遅れていた森林約48ha除間伐等が実施され、森林の公益的機能が維持増進された。 また、林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、事業着手前5年間の森林整備面積約28haに対し、事業完了後5年間では51ha（1.8倍）に増加した。 林道法面の改良により、崩落土砂や落石の除去等にかかる維持管理費費用の縮減が図られた。 用水施設の整備により、降雨等の影響なく良質な生活用水が安定的に供給されるようになり生活環境の改善が図られた。 小谷川森林公園の年間利用者数は旧平村の人口の約1.8倍に相当する約2,000人に上っており、市民への憩いの場や山村と都市との交流資源として活用された。 防災安全施設の整備により、林野及び集落火災の未然防止に寄与している。
③ 事業により整備された施設の管理状況	区域内の森林は、森林所有者及び森林組合により、間伐等の適切な森林整備が実施されたため良好な管理状況にある。 林道は、南砺市が定めた林道条例に基づき、適切に管理され年数回崩土除去や草刈等が行われている。 用水施設、森林公園、防災安全施設は南砺市の施設として維持管理費用が計上され適切に維持管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	健全な状態の単層林や針広混交林が整備され、森林の景観が向上した。 林道整備により、作業コストが低減され間伐が進むなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上したほか、施業地までの到達時間の短縮により林業従事者の労働条件の改善が図られた。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 用水施設の整備により、良質な生活用水が安定的に供給されるようになり、山村住民の生活環境が改善された。 小谷川森林公園の整備及び林道整備により、入込者の利便性が向上するとともに森林とのふれあい機会を提供するなど、市民の森林に対する理解が深化してきている。 防火水槽の設置により、森林火災や住宅火災を未然に防止し、安全で快適な山村社会の形成が図られた。
⑤ 社会経済情勢の変化	平成16年10月に平村を含む8町村が合併して南砺市となり、山村地域の振興をより一層強力に推し進める体制が整った。 林道の整備により、労働強度の軽減や高性能林業機械等の導入が可能となり、作業コストの低減による林業生産性の向上が図られた。 市民の憩いの場として小谷川森林公園が利用されており、都市と山村の交流の促進が図られ、地域の振興・活性化に繋がっている。
⑥ 今後の課題等	森林整備に対する森林所有者の意欲向上が徐々に増進されたものの、木材価格の低迷等により、未だ森林整備が十分とは言えない状況となっている。今後さらなる路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械の導入等により、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性を向上させる必要がある。 また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある ・地元の意見： 森林整備事業が実施され土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施の促進が必要となっている。（富山県） 小谷川森林公園の入込者がさらに増えるようPRしなくてはならない。 給排水施設や防災安全施設の整備により生活に安心感がでた。（南砺市）
評価結果	・必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網整備、用水施設整備等による生活環境の改善及び森林とのふれあい機会の提供を通じた地域住民や都市住民との交流促進が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたっても波形線形の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減に努めたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、用水施設及び防災安全施設整備による住民生活の安定が図られるとともに、森林公園の整備による地域住民と都市住民との交流による地域の活性化等にも貢献しており、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林居住環境整備事業

富山県

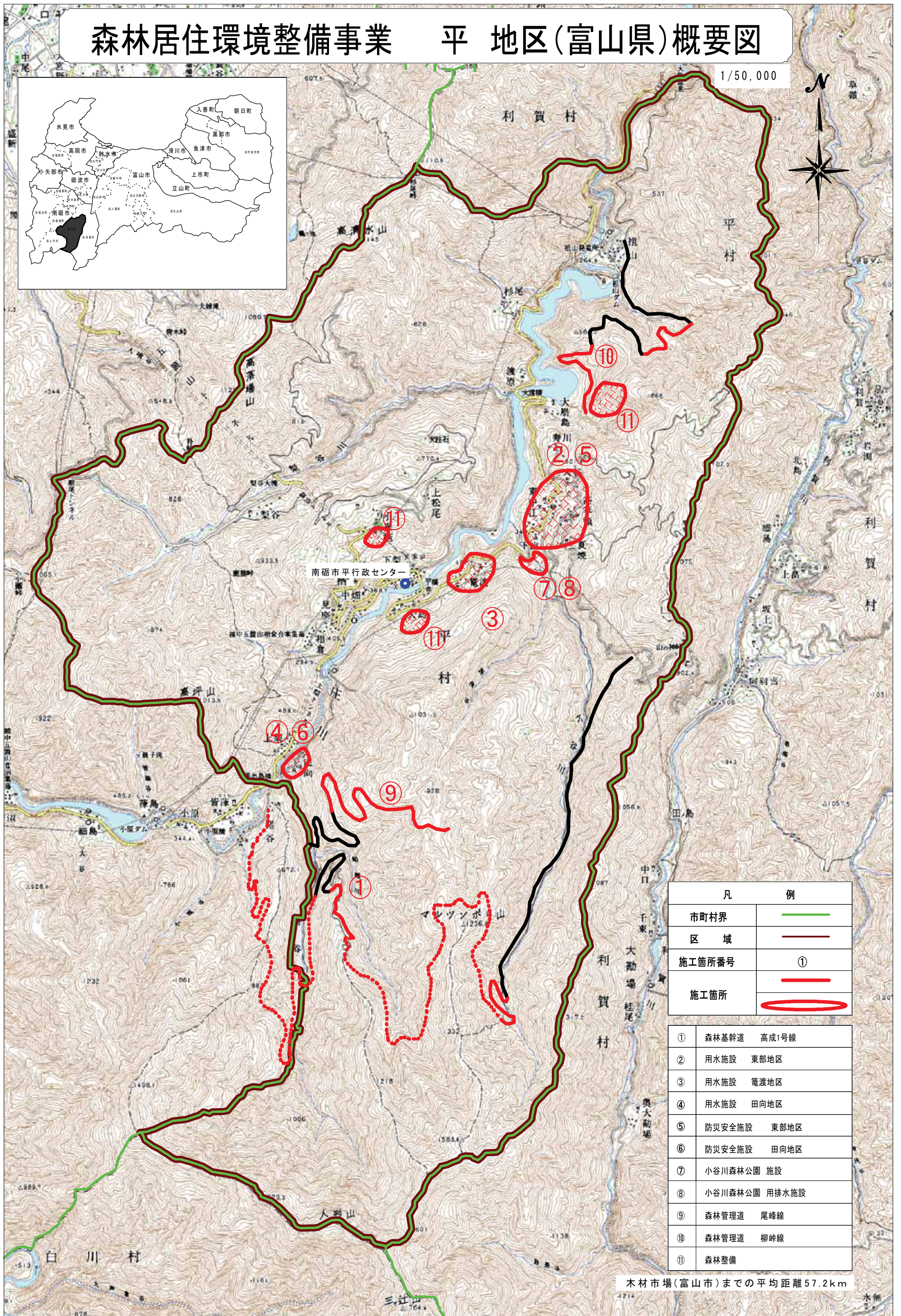
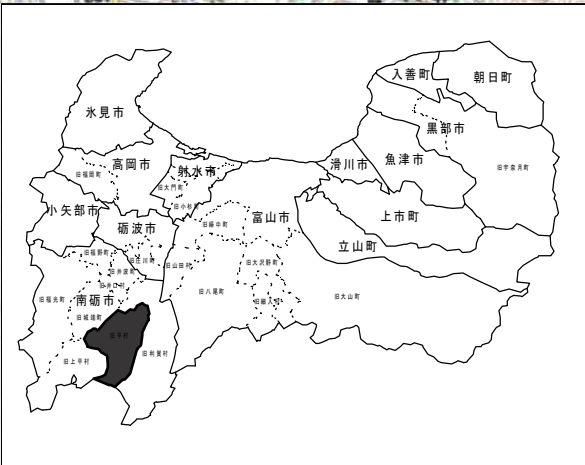
施行箇所：平

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	146,468	
	流域貯水便益	45,650	
	水質浄化便益	77,950	
山地保全便益	土砂流出防止便益	75,943	
	土砂崩壊防止便益	4,919	
環境保全便益	炭素固定便益	25,151	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	90,486	
	木材利用増進便益	25,989	
	木材生産確保・増進便益	403,390	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	444,019	
	治山経費縮減便益	11,556	
	森林管理等経費縮減便益	32,524	
	森林整備促進便益	439,312	
森林の総合利用便益	フォレストアメニティ施設利用便益	244,492	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	224,334	
維持管理経費縮減便益		375	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	893,683	
	生活排水浄化便益	6,094	
	生活安定確保便益	12,085	
総 便 益 (B)		3,204,420	
総 費 用 (C)		2,046,551	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,204,420}{2,046,551} = 1.56$		

森林居住環境整備事業 平地区(富山県)概要図

1/50,000



凡	例
市町村界	
区 域	
施工箇所番号	①
施工箇所	

①	森林基幹道 高成1号線
②	用水施設 東部地区
③	用水施設 麓渡地区
④	用水施設 田向地区
⑤	防災安全施設 東部地区
⑥	防災安全施設 田向地区
⑦	小谷川森林公園 施設
⑧	小谷川森林公園 用排水施設
⑨	森林管理道 尾峰線
⑩	森林管理道 柳峠線
⑪	森林整備

木材市場(富山市)までの平均距離57.2km

完了後の評価個表

整理番号	3-1
------	-----

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	富山県
地区名	上市地区	事業実施主体	富山県、上市町
関係市町村	上市町	管理主体	上市町
事業実施期間	H12～H16(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	① 位置等 当地区は、富山県の東部に位置し、標高2,999メートルの剱岳を主峰とする北アルプスを源として発する清流は、当地区内の早月川及び上市川に流れ、全国名水百選の「穴の谷霊水」など数々の名水を生み出すとともに、下流の都市住民にとって重要な水源となっている。 ② 森林の状況 当地区の森林面積は19,484ha、民有林面積は11,951haで、そのうち人工林が2,243haで18.8%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅦ齢級の森林は943haで42.0%である。 また、保安林として、主に水源かん養保安林に5,418ha、土砂流出防備保安林に7,921haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。 ③ 当地区を整備する目的・意義 これまでに2,243haの人工林の造成がされ、森林の蓄積は着実に増加しており、適正な森林整備が求められていたが、効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が未整備であったため、林道を開設するとともに森林の公益的機能の高度発揮を目的として、間伐等を行った。 都市住民を中心に国民の森林に対する要請は、多様化・高度化しており、レクリエーション活動の場、やすらぎの場等としての当地区の豊かな森林資源を有効に活用した森林の総合的な利用が求められていたことから、都市と山村の交流の促進等を図る拠点としてフォレストアメニティ施設(森林公園)の整備を行った。また、施設で利用する生活用水は沢を水源とし、排水についても河川・湖沼へ直接排水する状況であったため、水質、水量の確保と水源地域の水質保全を図る目的で用排水施設の整備をあわせて行った。 (事業概要) 森林整備 下刈53ha、除間伐144ha、機能増進保育213ha 森林基幹道整備 ①伊折千石線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,837m 改築・舗装延長 675m 利用区域面積 963ha ②坪野蓬沢線 車道幅員 4.0m 舗装延長 7,905m 利用区域面積 2,252ha 森林管理道整備 ①骨原線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,711m 利用区域面積 207ha 集落林道整備 ①北島須山線 車道幅員 4.0m 改良・舗装延長 1,330m フォレストアメニティ(森林公園)施設整備 ①ふるさと親自然公園 運動施設、広場施設、キャンプ施設、休憩施設等 森林利用施設等用排水施設整備 ①ふるさと親自然公園 用排水施設 総事業費 1,454,712千円 (当初総事業費 880,000千円)
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。 総便益(B) 6,611,004千円 総費用(C) 2,486,649千円 分析結果(B/C) 2.65
② 事業効果の発現状況	手入れが遅れていた森林約410haの除間伐等が実施され、森林の公益的機能が維持増進された。 また、林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、事業着手前5年間の森林整備面積約47haに対し、事業完了後の5年間は約140ha(3倍)に増加した。 林道の改良・舗装により、崩落土砂や落石の除去、路面の整正等にかかる維持管理費用の縮減が図られた。 ふるさと親自然公園の年間利用者数は、上市町の人口の約半分に相当する約12,500人に上っており、山村と都市との交流施設として活用されている。 用排水施設の整備により、良質かつ安定的に生活用水が供給されるとともに、雑排水の河川・湖沼への直接流入による水質汚濁を防止した。

③ 事業により整備された施設の管理状況	区域内の森林は、森林所有者及び森林組合により、間伐等の適切な森林整備が実施されたため良好な管理状況にある。 林道は、上市町が定めた林道維持管理規程に基づき、適切に管理されており、年数回の草刈りや路面の整備が行われている。 ふるさと親自然公園等施設は、上市町が年間を通じて管理人を常駐させるなど適切に管理している。
④ 事業実施による環境の変化	健全な状態の単層林や針広混交林が整備され、森林の景観が向上した。 林道整備により、作業コストが低減され間伐が進むなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上したほか、施業地までの到達時間の短縮により林業従事者の労働条件の改善が図られた。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 山菜採取やハイキング等に森林を利用する町内外の人々が増加し、市民の森林に対する理解が深化してきている。
⑤ 社会経済情勢の変化	林道の整備により、労働強度の軽減や、高性能林業機械等の導入が可能となり、作業コストの低減による林業生産性の向上が図られるとともに、林業労働者が森林組合等で新規雇用されるなど、雇用の拡大が図られている。 ふるさと親自然公園には、森林浴など自然とのふれあいの場としてにぎわい、都市と山村の交流の促進が図られ、地域の活性化に繋がっている。
⑥ 今後の課題等	森林整備に対する地元住民の意欲が増進されたものの、木材価格の低迷等により間伐等森林整備の実施が十分とは言えない状況となっている。森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を継続的にを行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。 また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。 ・ 地元の意見： 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。森林公園と用排水設備の整備によって安心して安全な場所での憩いの場ができた。（富山県） 林道の整備により、森林への到達時間が短縮されたため、森林所有者の森林に対する意欲が向上し森林整備が有効に行われるようになった。森林公園と用排水施設の整備によって町外から訪れる人も増え地域の活性化に繋がった。（上市町）
評価結果	・ 必要性： 森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備や、森林とのふれあい機会の提供などを通じた地域住民や都市住民との交流促進が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたってコスト削減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、ふるさと親自然公園の整備により地域住民と都市住民との交流による地域の活性化にも貢献しており、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林居住環境整備事業

富山県

施行箇所：上市

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,454,727	
	流域貯水便益	479,204	
	水質浄化便益	818,479	
山地保全便益	土砂流出防止便益	756,748	
	土砂崩壊防止便益	33,985	
環境保全便益	炭素固定便益	219,537	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,305	
	木材利用増進便益	502	
	木材生産確保・増進便益	603,396	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	494,088	
	治山経費縮減便益	61,849	
	森林管理等経費縮減便益	122,698	
	森林整備促進便益	266,273	
森林の総合利用便益	フォレストアメニティ施設利用便益	946,468	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	261,920	
維持管理経費縮減便益		2,640	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	75,196	
	生活排水浄化便益	6,989	
総 便 益 (B)		6,611,004	
総 費 用 (C)		2,486,649	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,611,004}{2,486,649} = 2.65$		

森林居住環境整備事業 上市 地区(富山県)概要図

1/75,000



上市町役場

凡	例
市町村界	
区 域	
施工箇所番号	①
施工箇所	

①	森林基幹道 伊折千石線
②	森林基幹道 坪野蓬沢線
③	ふるさと郷親自然公園 施設
④	ふるさと郷親自然公園 用排水施設
⑤	森林管理道 骨原線
⑥	森林管理道 北島須山線
⑦	森林整備

木材市場(富山市)までの平均距離19.6km